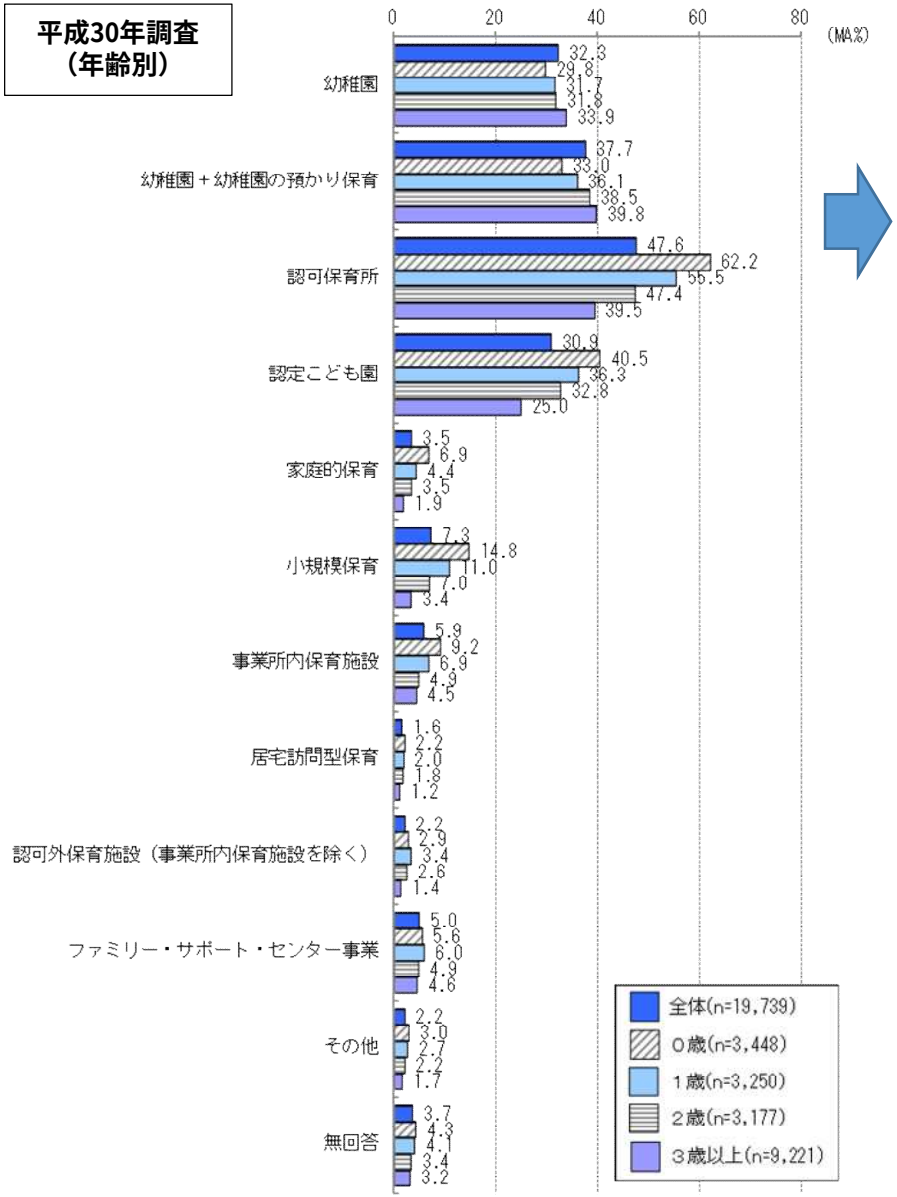
こどもを預かる施設やサービスの平日の定期的な利用希望②

- 平日の定期的な利用希望については、「認可保育所」が47.6%で最も多く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が37.7%、「幼稚園」が32.3%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「幼稚園」、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」は年齢が上がるほど割合が高くなっている。

平成30年調査
（年齢別）

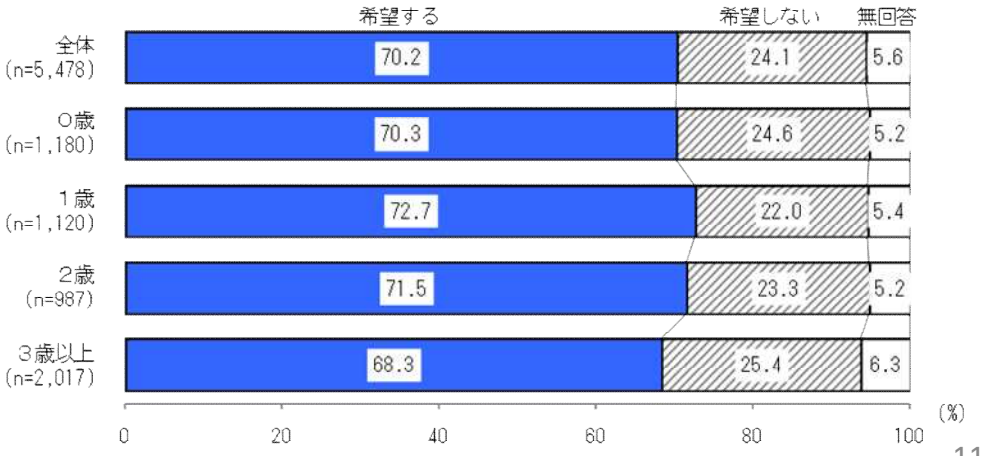


《内訳》『幼稚園』には「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」含む

- 『幼稚園』のみ希望　5,416人（27.4%）
- 『幼稚園』と他のサービスも希望　5,478人（27.8%）
- 『幼稚園』以外の他のサービスのみを希望　8,107人（41.4%）
- 無回答　738人（3.7%）

幼稚園の強い利用希望の有無

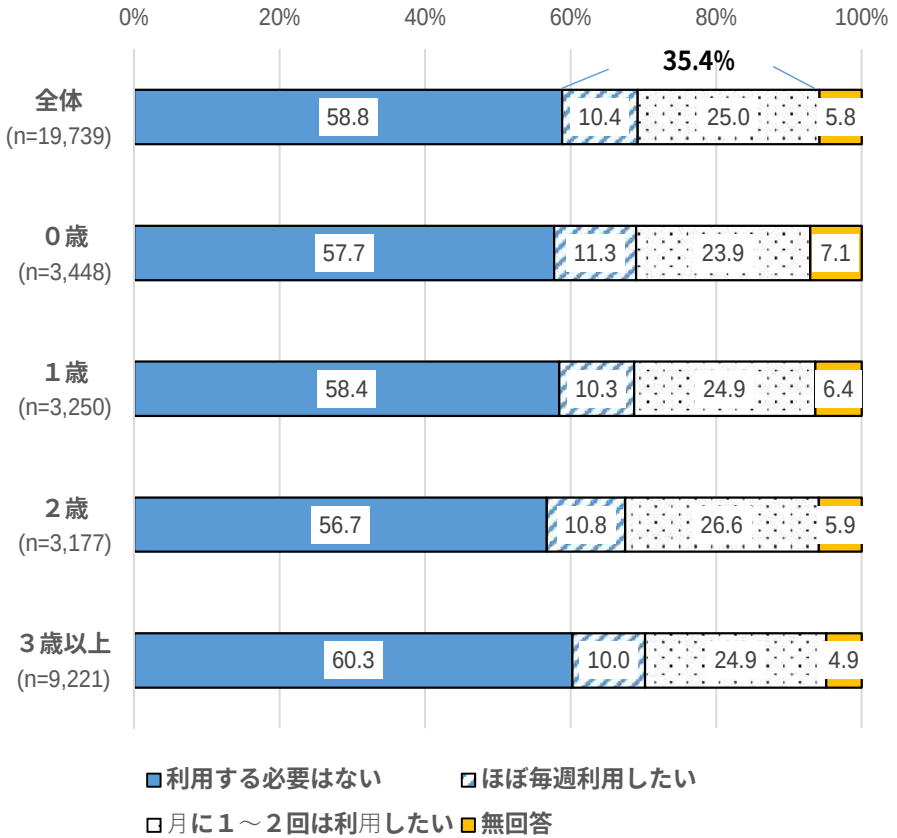
- 特に幼稚園の利用を強く希望するかについては、「希望する」が70.2%、「希望しない」が24.1%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「希望する」は１歳（72.7%）で最も高く、次いで２歳（71.5%）となっている。



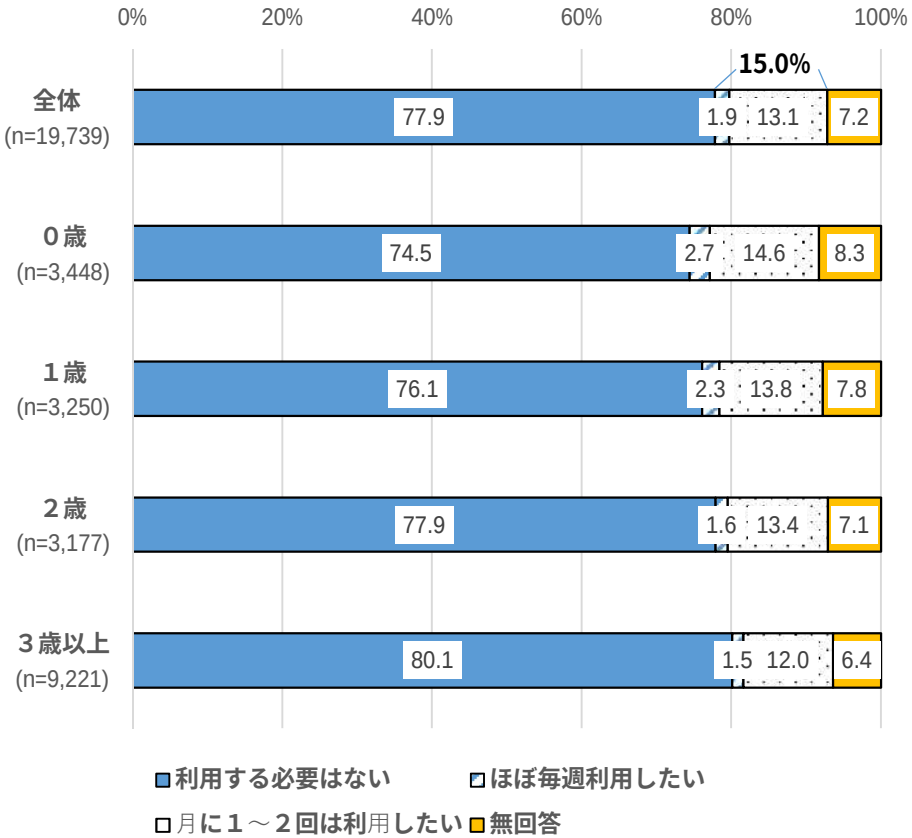
こどもを預かる施設やサービスの土曜日、日曜日・祝日の定期的な利用希望

- 土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が58.8%で最も多く、「ほぼ毎週利用したい」（10.4%）と「月に１～２回は利用したい」（25.0%）をあわせた『利用したい』は35.4%となっている。
- 日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要ない」が77.9%で最も多く、「ほぼ毎週利用したい」（1.9%）と「月に1～2回利用したい」（13.1%）をあわせた『利用したい』は15.0%となっている。

土曜日利用希望（H30）



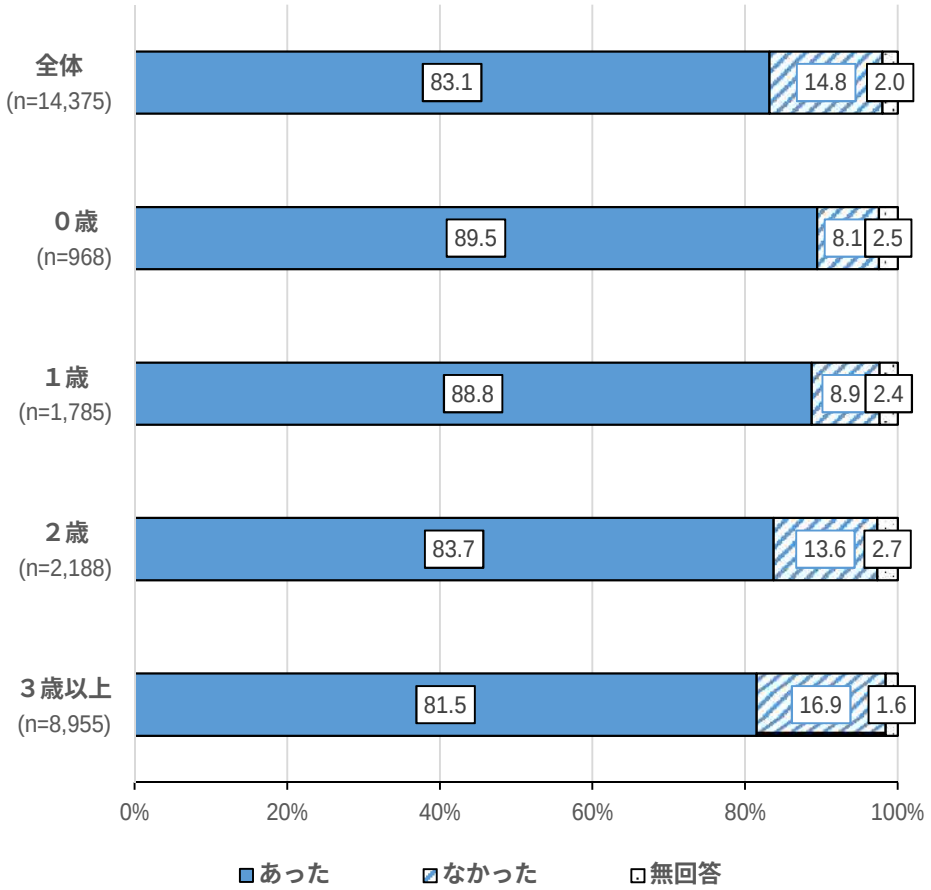
日・祝日利用希望（H30）



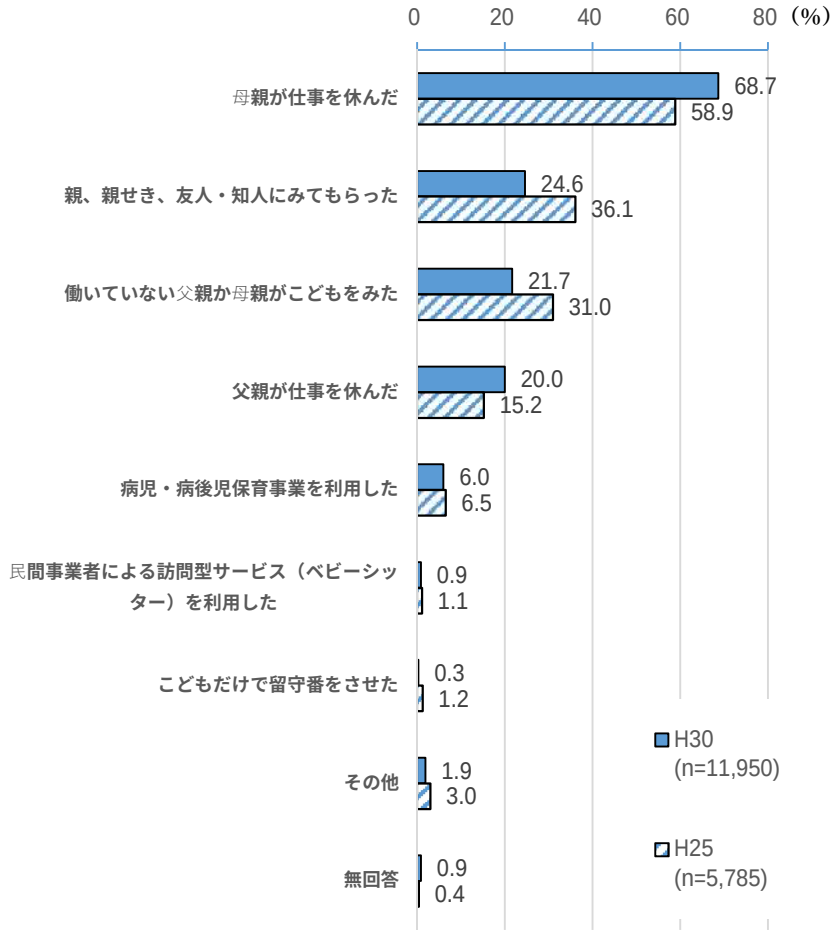
こどもが病気等でサービスを利用できなかったことの有無

- こどもが病気等でサービスを利用できなかったことの有無については、「あった」が83.1%、「なかった」が14.8%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「あった」は０歳（89.5%）で最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。
- こどもが病気等でサービスを利用できなかったことがあったと回答した人に、そのときの対処方法についてたずねると、「母親が仕事を休んだ」が68.7%で最も多く、次いで「親、親せき、友人・知人にみてもらった」が24.6%、「働いていない父親か母親がこどもをみた」が21.7%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「母親が仕事を休んだ」（9.8ポイント増）、「父親が仕事を休んだ」（4.8ポイント増）は高くなり、「親、親せき、友人・知人にみてもらった」（11.5ポイント減）、「働いていない父親か母親がこどもをみた」（9.3ポイント減）は低くなっている。

病気等で利用できなかった有無（H30）



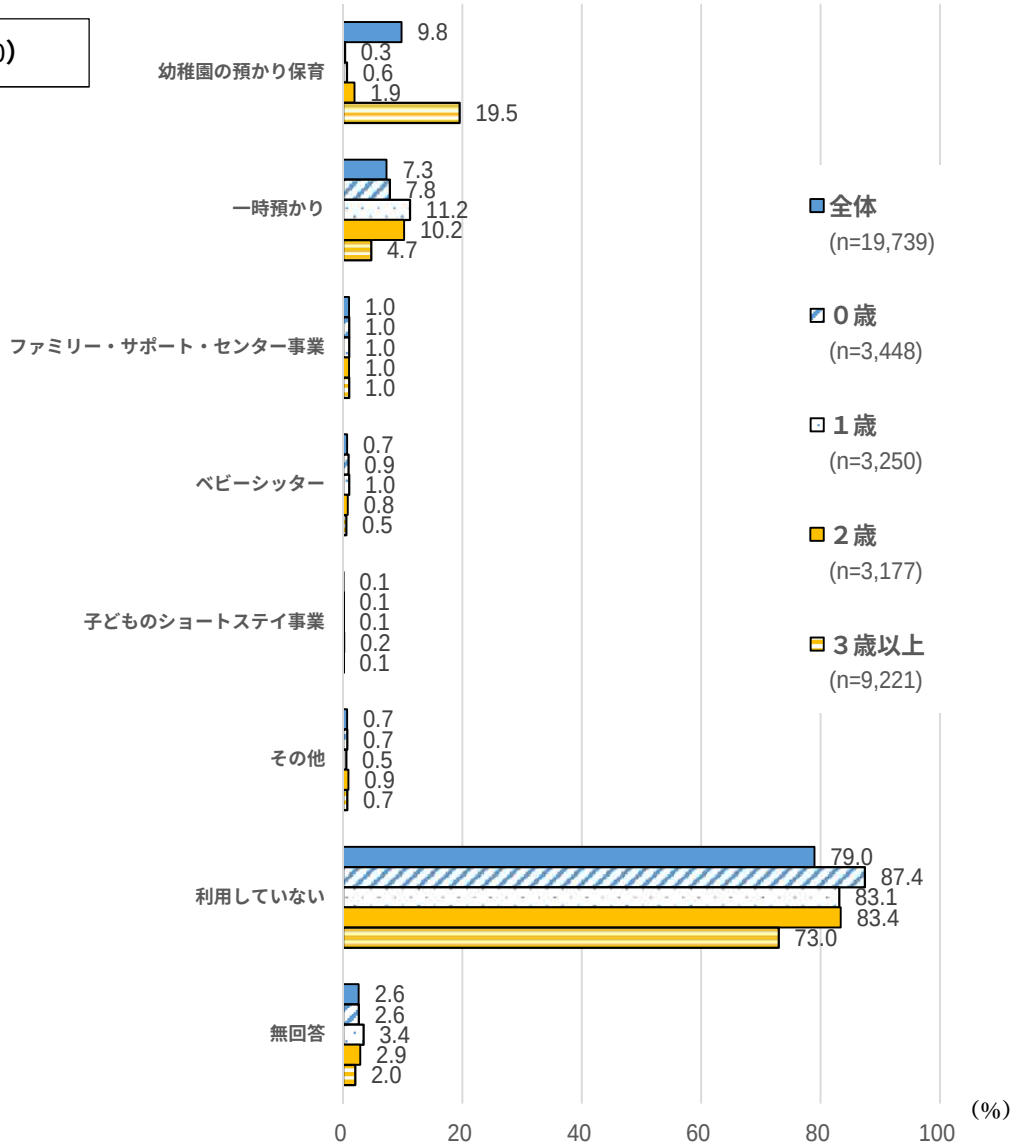
病気等で利用できなかったときの対処方法（H30－25比較）



こどもを預かる施設やサービスの不定期な利用状況

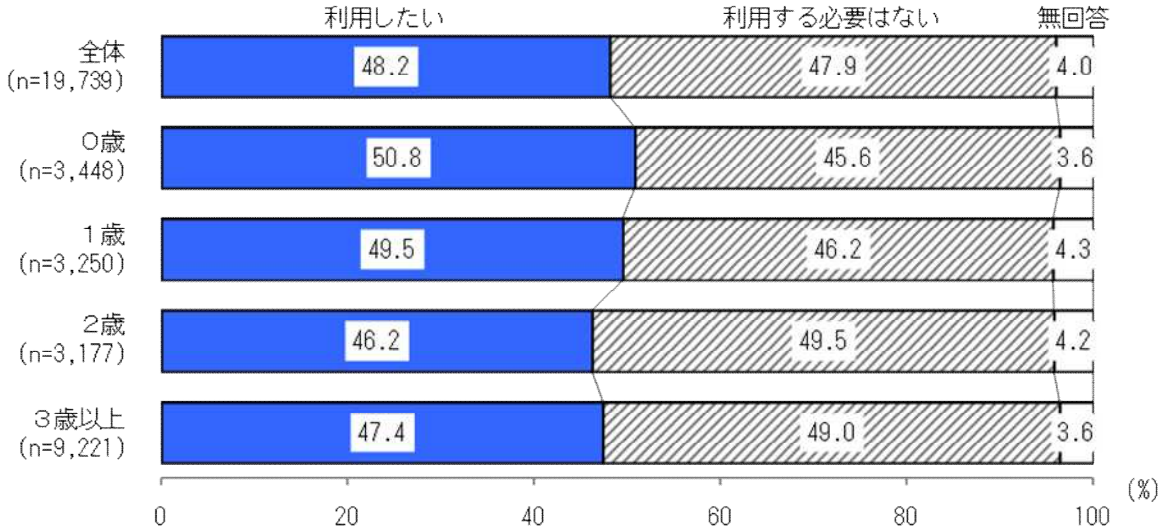
- 一時預かり等のサービスの利用状況については、「利用していない」が79.0%で最も多いが、利用した人では「幼稚園の預かり保育」が9.8%で最も多く、次いで「一時預かり」が7.3%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「幼稚園の預かり保育」は３歳以上（19.5%）で最も高く、「一時預かり」は１歳と２歳で10%程度となっている。

一時預かり等サービスの利用状況（H30）

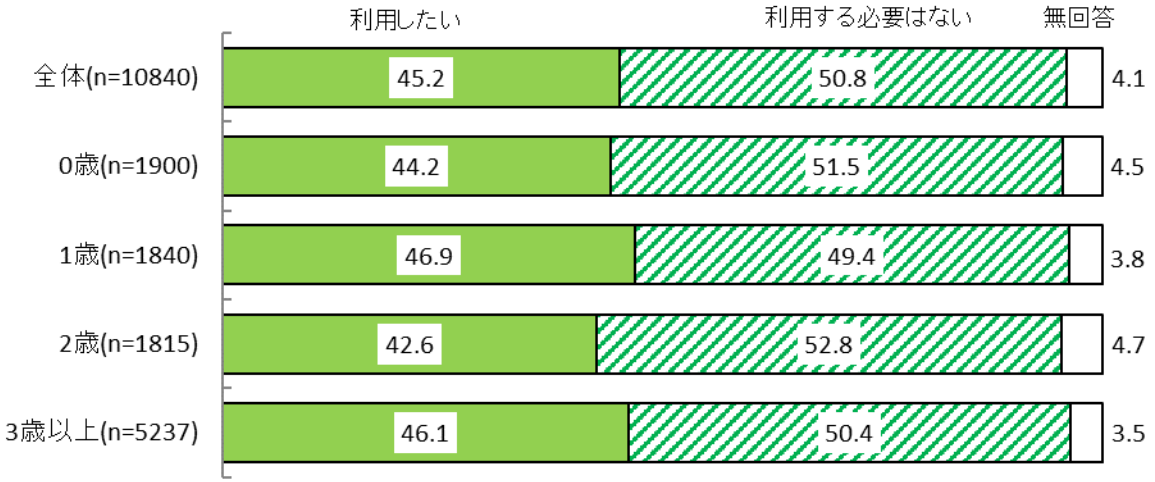


一時預かり施設やサービスの利用希望

- 一時預かり施設やサービスの利用希望については、「利用したい」が48.2%、「利用する必要はない」が47.9%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「利用したい」は０歳（50.8%）で最も高くなっている。
- 平成２５年調査の結果に比べ、０歳で「利用したい」が6.6ポイント高くなっている。

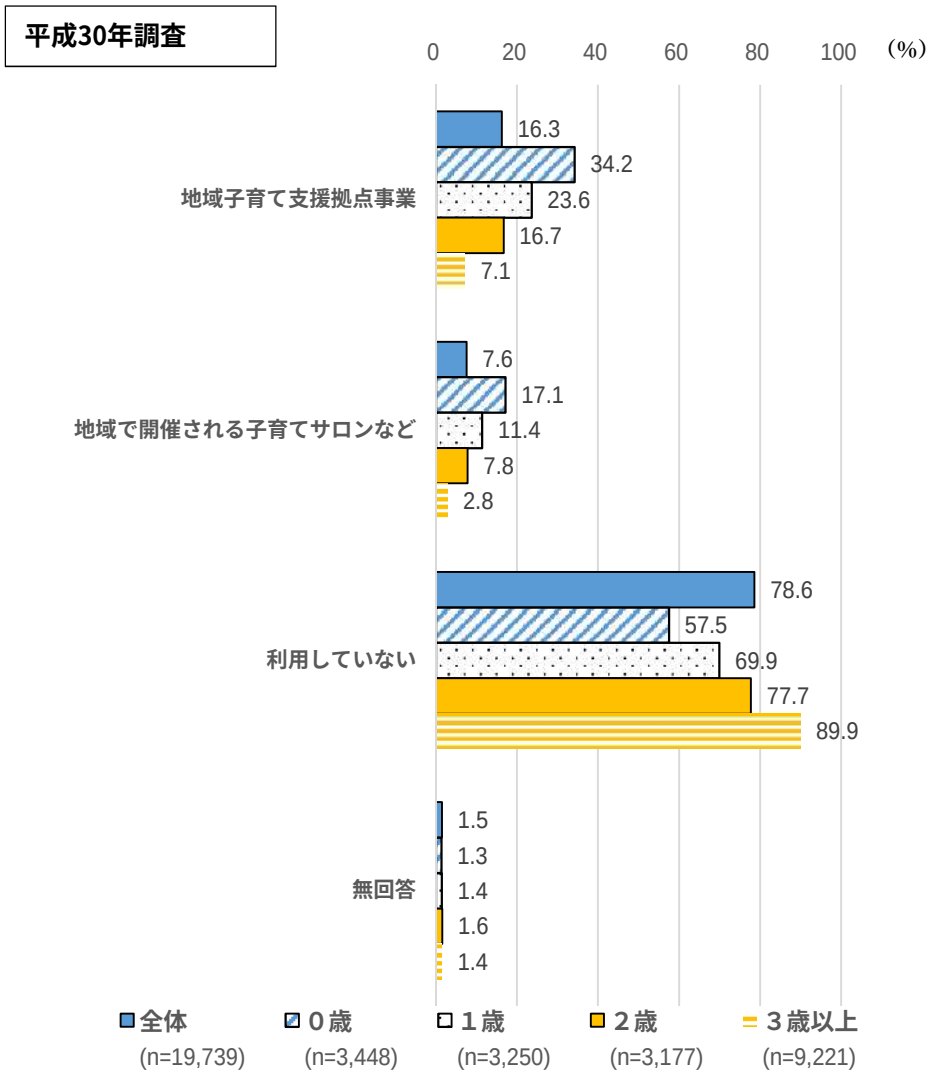


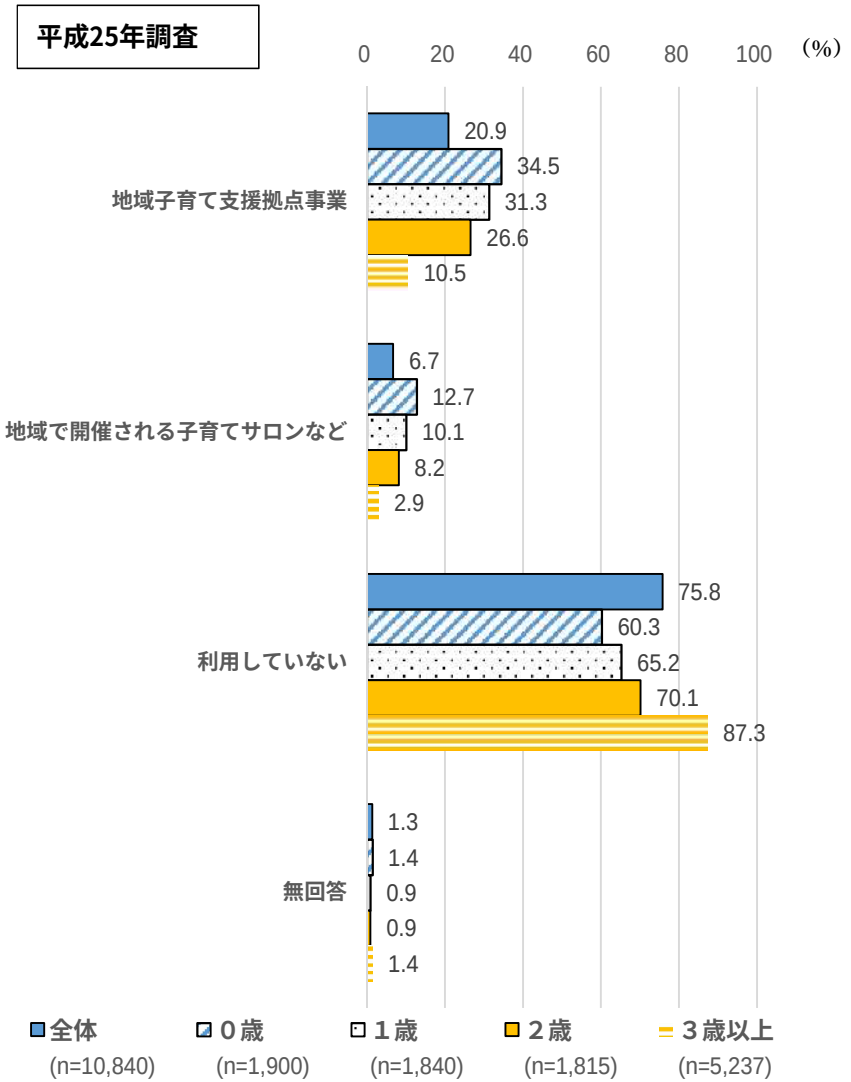
《参考》平成25年調査



地域子育て支援拠点事業などの利用状況

- 地域子育て支援拠点事業などの利用状況については、「利用していない」が78.6%で最も多く、利用している人では「地域子育て支援拠点事業」が16.3%、「地域で開催される子育てサロンなど」が7.6%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、地域子育て支援拠点事業（平成25年調査では「地域子育て支援センター、つどいの広場」）は1歳児で7.7ポイント低くなっている。

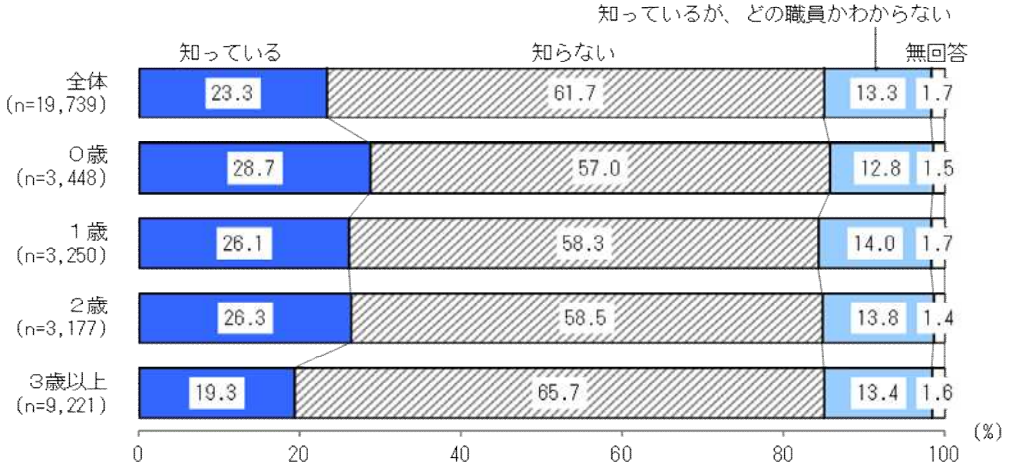




利用者支援専門員の認知・利用状況・利用希望

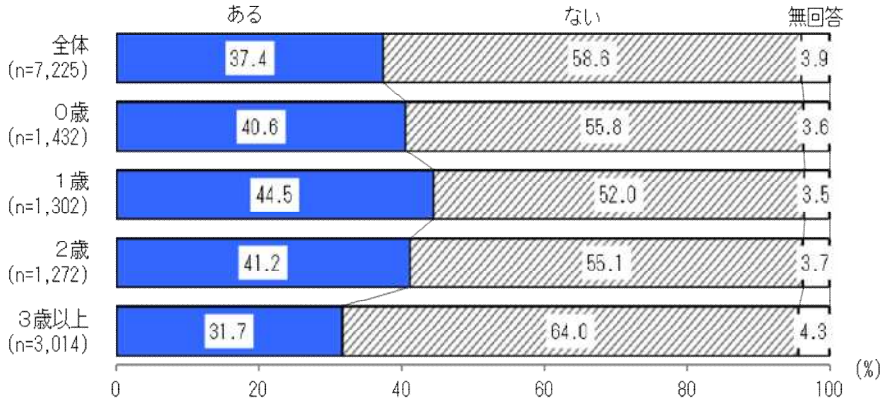
- 利用者支援専門員の認知状況については、「知らない」が61.7%で最も多く、次いで「知っている」が23.3%、「知っているが、どの職員かわからない」が13.3%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「知っている」は０歳（28.7%）で最も高く、３歳以上（19.3%）で最も低くなっている。

利用者支援専門員認知状況（H30）

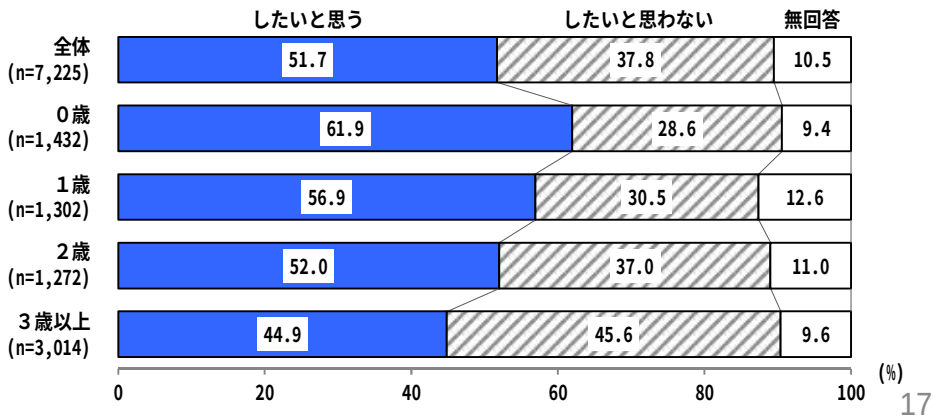


- 利用者支援専門員を知っていると回答した人に、利用者支援専門員に相談したり情報提供を受けたりしたことの有無についてたずねると、「ある」が37.4%、「ない」が58.6%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「ある」は1歳（44.5%）で最も高く、0～2歳で40%台を占めている。
- 今後、利用者支援専門員に相談したり情報提供を受けたりする希望については、「したいと思う」が51.7%、「したいと思わない」が37.8%となっている。
- こどもの年齢別でみると、「したいと思う」は0歳（61.9%）で最も高く、年齢が上がるほど割合が低くなっている。

専門員利用状況（H30）

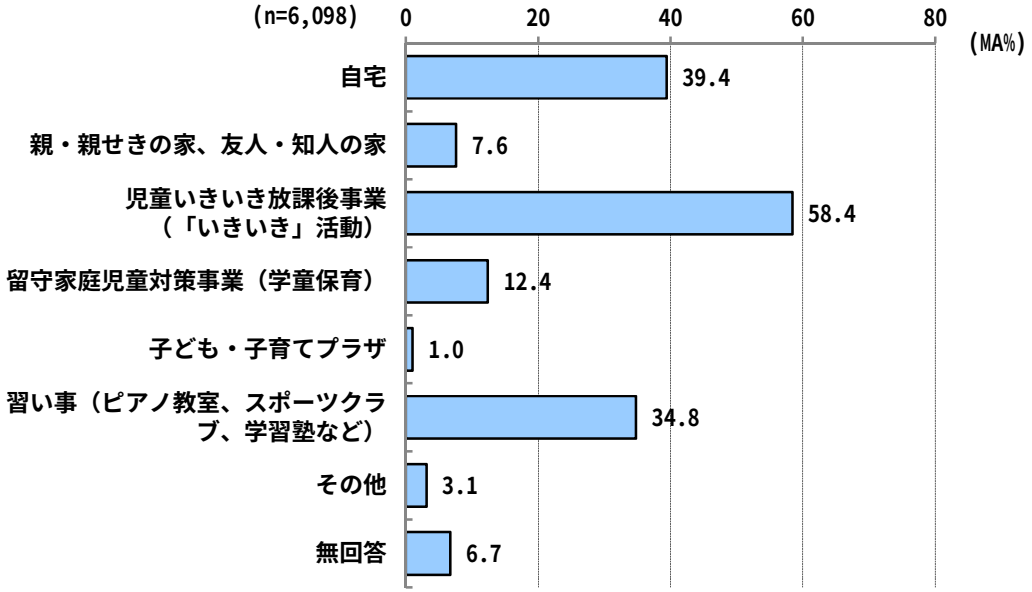


専門員利用希望（H30）

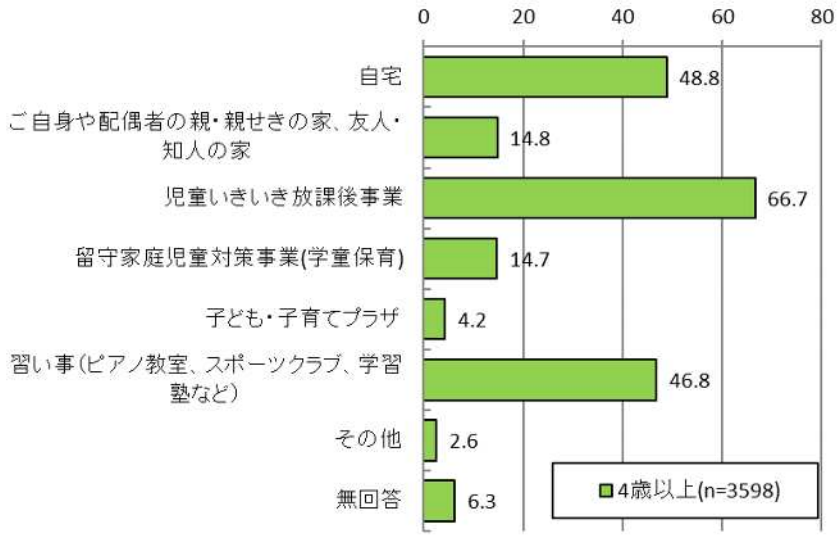


こどもが小学校低学年の間に、放課後過ごさせたい場所

- ４歳以上のこどもが小学校低学年の間に、放課後過ごさせたい場所については、「児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）」が58.4%で最も多く、次いで「自宅」が39.4%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が34.8%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が12ポイント、「自宅」が9.4ポイント、「児童いきいき放課後事業」が8.3ポイント低くなっている。



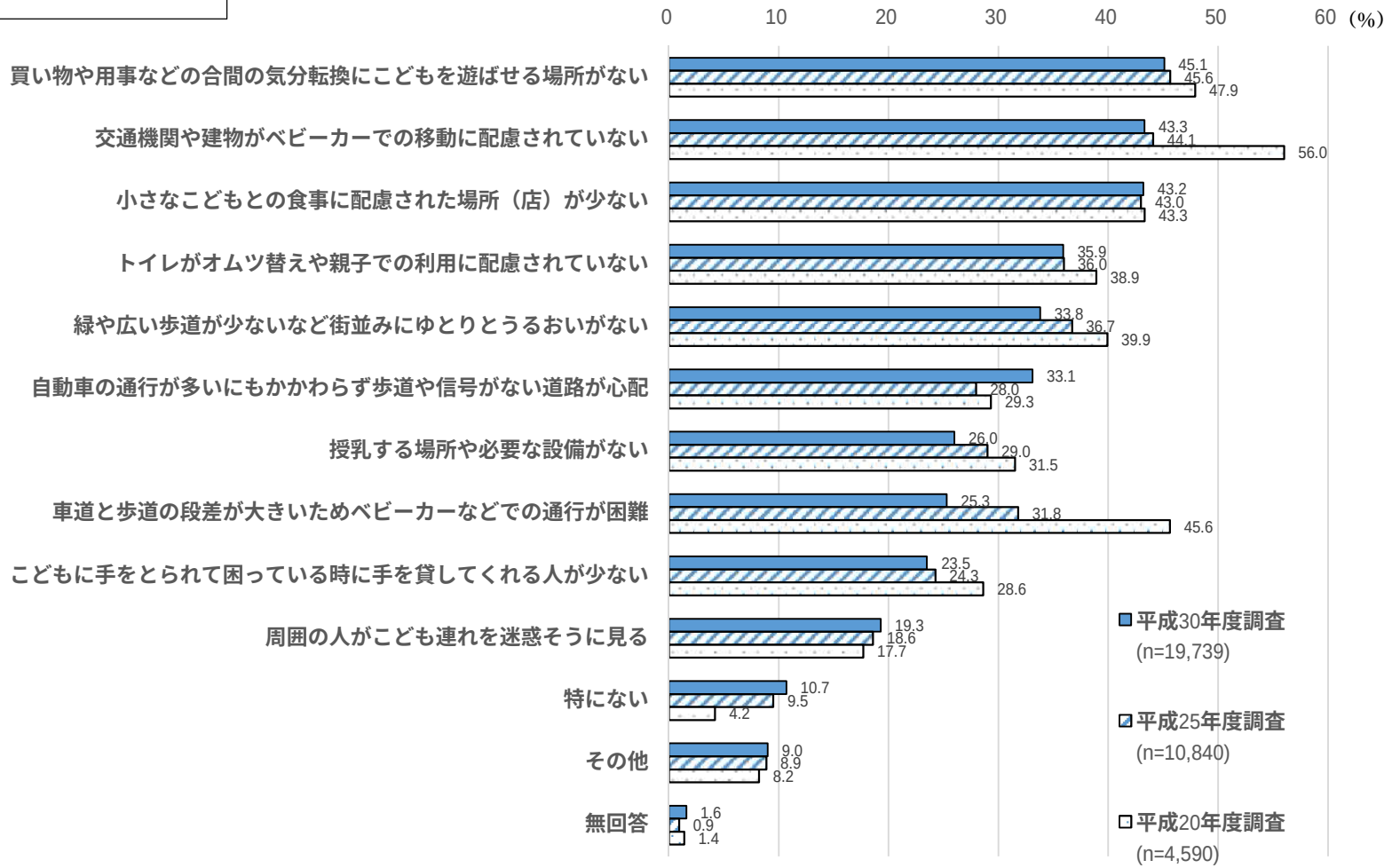
《参考》平成25年調査



こどもとの外出時に困ること

- こどもとの外出時に困ることについては、「買い物や用事などの合間の気分転換にこどもを遊ばせる場所がない」が45.1%で最も多く、次いで「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」が43.3%、「小さなこどもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」が43.2%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「車道と歩道の段差が大きいためベビーカーなどでの通行が困難」（平成25年調査では「歩道の段差などがベビーカーなどでの通行の妨げになっている」）が6.5ポイント低くなっている。（改善している）

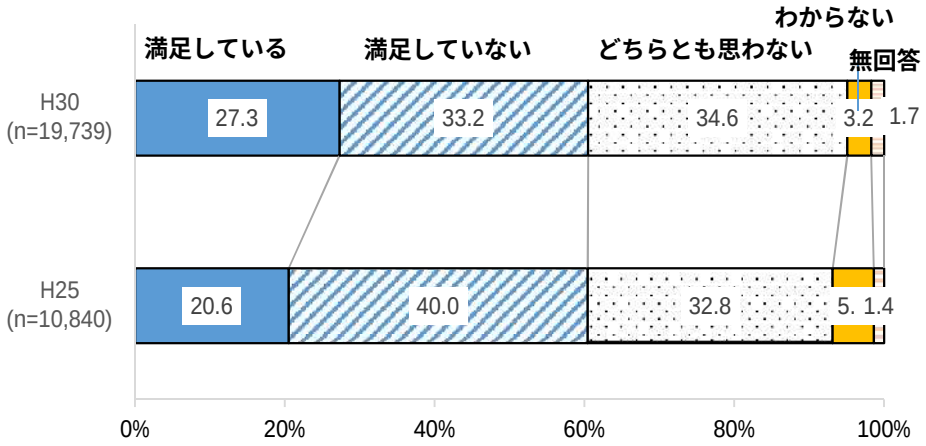
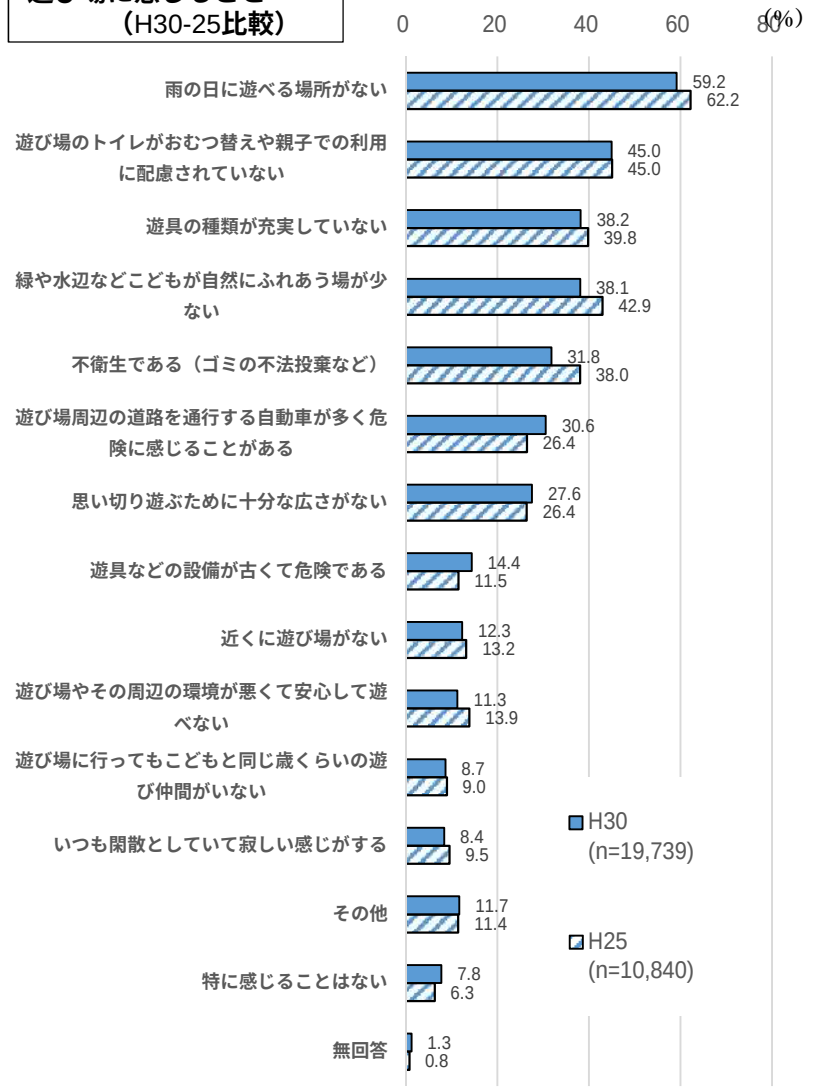
こどもとの外出時に困ること
（H30－25－20比較）



こどもの遊び場に関する満足度

- こどもの遊び場に関する満足度については、「満足している」が27.3%、「満足していない」が33.2%となっている。
- 平成25年調査の結果に比べ、「満足している」が6.7ポイント高くなっている。
- こどもの遊び場に感じることについては、「雨の日に遊べる場所がない」が59.2%で最も多く、次いで「遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が45.0%、「遊具の種類が充実していない」が38.2%となっている。
- 平成25年調査の結果と比べると、「不衛生である（ゴミの不法投棄など）」が6.2ポイント低くなっている（改善している）一方で、「遊び場周辺の道路を通行する自動車が多く危険を感じることがある」が4.2ポイント高くなっている（悪化している）。

遊び場満足度（H30-25比較）



遊び場に感じること（H30-25比較）